

活動調査解説

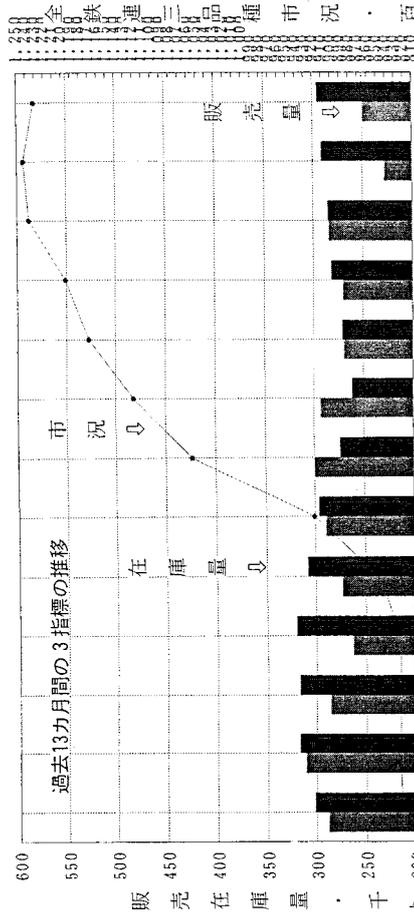
販売増加だが前年実績下回る

(2008年9月)

〈総計欄〉 9月の仕入れ量は252,938トンの前年同月比+7.9%前年同月比-12.4%。販売量は249,117トンの前年同月比+9.3%前年同月比-13.5%。営業日数が増えた分だけの増加で、基調としては8月を引きずっているように見えます。第2四半期としては仕入れ量774,225トンの前年同月比-7.6%前年同月比-14.5%、販売量は761,007トンの前年同月比-8.5%同-18.7%となり大きな落ち込みです。一方、在庫量は294,880トンの前月より減っています。在庫量とは言いにくいでしょう。鉄鋼業界のみならず経済情勢そのものが非常に流動的で不安定です。

〈販売欄〉 品種別では異形棒鋼が12.4%の著増、東京13.9%、大阪9.0%、愛知7.4%と3地区とも増加。H形鋼は3.0%増加、東京8.9%、愛知3.1%と両地区で増加、大阪は0.4%微減。その他品種は山形鋼11.6%、薄形鋼11.5%、コラム16.0%と1割以上の増加、C形鋼も8.4%増加しています。

〈在庫欄〉 異形棒鋼は2.0%減少、東京3.8%、愛知3.8%と両地区で減少、大阪は4.0%増加しています。H形鋼は5.3%増加、東京0.4%微増、大阪は10.5%の著増、愛知1.7%増加となっています。その他品種では山形鋼1.8%、コラム3.1%と両品種が増加。薄形鋼4.2%、C形鋼6.9%と減少しています。



- 19/9 八月比販売減少は前代未聞
- 10 建基法改正影響深刻化する
- 11 建基法改正が鋼材市場直撃
- 12 販売落ち込み続き採算悪化
- 20/1 大幅値上げ発表で仮需発生
- 2 市況急騰し未知の価格帯へ
- 3 相次ぐ値上げ市況更に高騰
- 4 仮需一服も市況は続伸模様
- 5 仮需反動局面採算性は確保
- 6 再値上げ控えての仮需なし
- 7 店売り市場閑散、鉄屑反落
- 8 鉄屑大幅下落販売数量激減
- 9 鉄屑更に下落、市況下押し

流動調査および重要関係指標の時系列表

種	全鉄連流通調室3品種目総合			全鉄連通市況			販売店		粗鋼生産		小棒
	仕入量	販売量	在庫量	3品種	全品種	全品種	収益動	D1	需要見通	実績	
期	トン	トン	トン	百円	百円	百円	千円	千円	千トン	千トン	千トン
16年度	3,556,787	3,594,897	275,697	94.6	735	809	+131	+131	111,050	112,897	11,184
17年度	3,822,350	3,827,850	304,764	95.7	751	844	+89	+89	112,170	112,471	11,406
18年度	3,946,780	3,918,696	331,849	101.7	762	844	+87	+87	115,170	117,745	12,236
19年度	3,547,499	3,604,379	279,969	91.5	845	915	+69	+69	119,170	121,511	11,730
18年度4四期	970,577										